

水稲用除草剤適正使用について

公益財団法人日本植物調節剤研究協会

当協会では、水稲用除草剤の効果の安定と水田外への流出防止のため、散布前後の水管理の徹底を啓発する事業を行っています。その一環として、とくに散布後7日間落水、かけ流しをしないよう注意を促すキャンペーン広告を、会員会社の協力を得て、4月から5月に日本農業新聞上に掲載し、その記事を植調協会ホームページでも紹介しています。

一般に、水稲用除草剤は、散布後有効成分が水中に溶け出し、水田水を介して水田土壌の表層に拡がって除草効果を発揮するため、散布後に止水し、水を水田の外に流さないことは、除草効果を安定させるとともに水田外への成分の流出を防ぐことになります。

この除草剤適正使用キャンペーンは、畦畔の整備とともに散布後7日間、水を水田の外に出さないよう周知徹底を図るものです。

昨年8月に、水稲用除草剤の移植前処理及び播種前処理の使用時期が「移植4日前まで」→「移植7日前まで」及び「播種4日前まで」→「播種7日前まで」に変更されましたので、今回はこのことを記事に含めています。

また、昨年引き続き、かけ流しをさせないための水管理法として、水稲用除草剤散布後水田水がなくなるまで給水しない止水管理を紹介しています。

以下に新聞広告を掲載致します。

平成25年度 水稲用除草剤適正使用キャンペーン

水稲用除草剤 散布後7日間は 田んぼの水を 外に出さない

**薬剤成分の流出を防止し、
安定した除草効果が得られます。**

- 1 水稲用除草剤の散布後7日間は、落水、かけ流しをしない!!
直接取増でも同様です。
- 2 田植前及び播種前の散布でも、散布後7日間は落水しない!!
全ての水稲用初期除草剤は、移植前処理及び播種前処理の使用時期が「移植4日前まで」→「移植7日前まで」及び「播種4日前まで」→「播種7日前まで」に変更されました。
- 3 畦畔のひび、穴等を補修し、事前に水持ちを確認する!

除草剤散布後、水田水がなくなるまで給水しない止水管理

除草剤を散布した後、水田水が水田外に出ないように排水口を止め、さらにその水田水がなくなるまでの期間は、給水も止める方法です。水田外への薬剤成分の流出防止を徹底できます。

※ 低湿対策等、取増上水が必要な場合は適宜給水して湛水維持に努めるが、オーバーフローさせないよう注意する。
※ 水田水がなくなったら給水する(オーバーフローさせないよう注意)。

このキャンペーンに協力、推進しています。

アピロトップMX / アピロキオMX
1#000075-51
アルバーフロアブル
1#000075-51#000081-20075
イッポン
1#000075-51#000081-20075
イネキング
1#000075-51#000081-20075
イノーバ(DXアップ)
1#000075-51
エーワフ
1#000075-51#000081-20075
キクンジャーZ
1#000075-51#000081-20075
クワトロ-DX
1#000075-51#000081-20075
グッドスター
1#000075-51#000081-20075
忍
1#000075-51#000081-20075
シロノク
1#000075-51#000081-20075
スマート
1#000075-51#000081-20075
ドゥジガード
1#000075-51#000081-20075
ナギナタ
1#000075-51#000081-20075
ババチリ
1#000075-51#000081-20075
半蔵
1#000075-51#000081-20075
ピクトロ-ズ
1#000075-51#000081-20075
ボデーガード
1#000075-51#000081-20075

**平成25年度
キャンペーン協賛会社**

石原産業株式会社
株式会社 エスディエス バイオテック
協友アグリ株式会社
クミアイ化学工業株式会社
シンジエンテクノ株式会社
住友化学株式会社
テラル株式会社
日南化学工業株式会社
日本農薬株式会社
バベルクロップサイエンス株式会社
BASFジャパン株式会社
北興化学工業株式会社
三井化学アグリ株式会社